

衆議院 大蔵委員会議録 第五十九号

昭和二十七年四月二十八日(月曜日)
午前十一時三十二分開議

出席委員

委員長 佐藤 重遠君
理事奥村又十郎君 理事小山 長規君
理事佐久間 徹君 理事内藤
島村 一郎君 川野 清水
苦米地英俊君 三宅 則義君
宮崎 靖君 宮原幸三郎君

門脇勝太郎君 芳滿君
島村 一郎君 清水 邑平君
吉田 富之君 宮原幸三郎君

出席政府委員

大蔵事務官(主) 佐藤 一郎君
計局法課課長 佐藤 一郎君
大蔵事務官 河野 通一君
(銀行局長) 高田 浩運君
高君

大蔵事務官(銀
行局銀行課長) 大月 大月
厚生事務官(銀
行局次長) 高田 浩運君
高君

大蔵事務官(銀
行局次長) 高田 浩運君
高君

議員 稲田 直道君
大蔵事務官(管財
局閉鎖機関課長) 堀口 定義君
専門員 植木 文也君
専門員 黒田 久太君

議員 稲田 直道君
大蔵事務官(管財
局閉鎖機関課長) 堀口 定義君
専門員 植木 文也君
専門員 黒田 久太君

議員 稲田 直道君
大蔵事務官(管財
局閉鎖機関課長) 堀口 定義君
専門員 植木 文也君
専門員 黒田 久太君

四月二十八日

委員水田三喜男君辞任につき、その
補欠として宮原幸三郎君が議長の指
名で委員に選任された。

本日の会議に付した事件

長期信用銀行法案(内閣提出第一
三号)

日本開発銀行法の一部を改正する法
律案(内閣提出第一二三八号)

地方公共団体職員の給與改善のため

の地方公共団体に対する国の貸付金
に係る債務の免除等に関する法律案
(内閣提出第一五三号)

国立病院特別会計所屬の資産の譲渡
等に関する特別措置法案(内閣提出
第一六三号)

鳥取市の災害に対する特別融資に関する件

○佐藤委員長 これより会議を開きます

長期信用銀行法案、日本開発銀行法
の一部を改正する法律案、国立病院特
別会計所屬の資産の譲渡等に関する特
別措置法案、及び地方公共団体職員の
給與改善のための地方公共団体に対する
國の貸付金に係る債務の免除等に関する
法律案を一括議題として、質疑を

統行いたします。質疑は通告順によつ
てこれを許可いたします。宮崎議長君
は、いづれにしても考へておりませ
ん。大きな方針としては、やはり現在
の状況から見まして、重点的な設備
針をそろそろ転換するということ

は、いづれにしても考へておりませ
ん。大きな方針としては、やはり現在
の状況から見まして、重点的な設備
資金の融資について抑制の方

針をそろそろ転換するということをやつて参りました
が、細目とでも言ふべき部分につ
きまして、銀行局長さんにお伺いいた
したいと思います。

[委員長退席、佐久間委員長代理
着席]

先日やみ金融の取締りを強化するとい
う問題についてお尋ねいたしました
が、これはまだ法律が出てからとい
うことで、これらはまだ法律が出てからとい
うことを許可いたしました。宮崎議長君

は、いづれにしても考へておりませ
ん。大きな方針としては、やはり現在
の状況から見まして、重点的な設備
資金の融資について抑制の方針をそろそろ転換するとい
うことを許可いたしました。宮崎議長君

は、いづれにしても考へておりませ
ん。大きな方針としては、やはり現在
の状況から見まして、重点的な設備
資金の融資について抑制の方針をそろそろ転換するとい
うことを許可いたしました。宮崎議長君

は、いづれにても考へておりませ
ん。大きな方針としては、やはり現在
の状況から見まして、重点的な設備
資金の融資について抑制の方針をそろそろ転換するとい
うことを許可いたしました。宮崎議長君

は、いづれにても考へておりませ
ん。大きな方針としては、やはり現在
の状況から見まして、重点的な設備
資金の融資について抑制の方針をそろそろ転換するとい
うことを許可いたしました。宮崎議長君

は、いづれにても考へておりませ
ん。大きな方針としては、やはり現在
の状況から見まして、重点的な設備
資金の融資について抑制の方針をそろそろ転換するとい
うことを許可いたしました。宮崎議長君

和の通知を出すような状況になりまし
たのが、またこれをやめたというよう
に一応見えますが、実相はどうなつて
おりますか。特に大蔵大臣は、引続
てやはり金融緩和の方向に進むべき
だ、みだりに金融緩和の方向に行くべ
きでないという答弁をせられたことで
ありますから、この関係をお伺いいた
したいと思います。

○河野(通)政府委員 設備資金の融資
につきまして、これを緩和するとい
う問題が新聞等で報道されておるわけ
であります。この問題につきまして
は、基本的な考え方といしまして
は、設備資金の融資について抑制の方
針をそろそろ転換するということ

につきまして、これを緩和するとい
う問題が新聞等で報道されておるわけ
であります。この問題につきまして
は、基本的な考え方といしまして
は、設備資金の融資について抑制の方
針をそろそろ転換するということ

につきまして、「異議なし」と呼ぶ者あり

○佐久間委員長代理 御異議ないよう
ですから、稻田議員の委員外発言を許
可いたことにいたします。稻田直道
君。

○稻田直道君 今回の鳥取市の大火の
復旧等に関する問題につきまして、當
委員会に不肖私出席をさせてもらいま
して、委員外の質問をいたす機会を與
えられましたことを感謝いたします。

今回の大火に関しては、被害の原因と
して、その他建築物等のことにつきまし
ては、ここで申し上げることを省略

されられましたことを感謝いたします。

今日は、この大に申しあげることを省略

されられましたことを感謝いたします。

今日は、この大に申しあげることを省略

されられましたことを感謝いたします。

今日は、この大に申しあげることを省略

されられましたことを感謝いたします。

今日は、この大に申しあげることを省略

究中に属する、こう御了解をいただき
たいと思います。

○佐久間委員長代理 次に本委員会の
国政調査の一環として、先般の鳥取市
の災害に対する特別融資に関する件を
議題といたします。

本件につきましては、議員稻田直道
君より委員外発言の許可を求められて
おりますが、これを許可するに御異議
ありませんか。

○稻田直道君 本件につきましては、議員稻田直道
君より委員外発言の許可を求められて
おりますが、これを許可するに御異議
ありませんか。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐久間委員長代理 御異議ないよう
ですから、稻田議員の委員外発言を許
可いたことにいたします。稻田直道
君。

○稻田直道君 今回の鳥取市の大火の
復旧等に関する問題につきまして、當
委員会に不肖私出席をさせてもらいま
して、委員外の質問をいたす機会を與
えられましたことを感謝いたします。

今回の大火に関しては、被害の原因と
して、その他建築物等のことにつきまし
ては、ここで申し上げることを省略

されられましたことを感謝いたします。

今日は、この大に申しあげることを省略

されられましたことを感謝いたします。

今日は、この大に申しあげることを省略

されられましたことを感謝いたします。

今日は、この大に申しあげることを省略

されられましたことを感謝いたします。

し、かつ御協力願いたいことは——こ
れは安本関係が主たるものではあります
しょけれども、御記憶にとどめてお
いてもらいたいことは、罹災後ただち
に政府は閣議を開きまして、公共事業費
から二億円、住宅金融公庫から一億円、
ほかに厚生省関係から一億五百円を
支出するようになつたのであります
が、この公共事業費の二億円をさらに
いま幾分か増額するということに御賛
成、御協力が願いたい、ということ。次
は住宅金融公庫の二億円を、池田大蔵
大臣に話しましたら、了承しておるか
ら、何とか局、課長に話してくれとい
うことでありましたが、この二億円を
さらに一億円ふやしてもらいたいとい
う現地の知事、市長の希望があるので
あります。なおもらいました二億円の
大蔵大臣に話しました二億円の
大臣に話しました二億円を借ります人
に補助をいただくのであります。残
りの二割が着の身着のままになります
た者には、なかなかできないのであ
ります。まあ一千五百円まで、金融公庫の金を借ります人
に補助をいただくのであります。残
りの二割が着の身着のままになります
た者には、なかなかできないのであ
ります。まあ一千五百円まで、金融公庫の金を借ります人
に補助をいたしまして、この一割内
外を県の方から貸すようなことにして
おりますが、この問題は法律上どのよ
うにもならぬものでありますか。なら
ぬものだとも思いますが、何らか便法
を講じてもらつて、建てる人が全部借
金で建てられるような方法はないかと
うかを、一応お聞きしておきたいと思
います。まずこの二点につきまして、まだあ
る關係局のお話を聞きまして、まだ研
究中であります。結論が出来次第、
お尋ねをいたいと思います。

（七〇一）

し、かつ御協力願いたいことは——こ
れは安本関係が主たるものではあります
しょけれども、御記憶にとどめてお
いてもらいたいことは、罹災後ただち
に政府は閣議を開きまして、公共事業費
から二億円、住宅金融公庫から一億円、
ほかに厚生省関係から一億五百円を
支出するようになつたのであります
が、この公共事業費の二億円をさらに
いま幾分か増額するということに御賛
成、御協力が願いたい、ということ。次
は住宅金融公庫の二億円を、池田大蔵
大臣に話しましたら、了承しておるか
ら、何とか局、課長に話してくれとい
うことでありましたが、この二億円を
さらに一億円ふやしてもらいたいとい
う現地の知事、市長の希望があるので
あります。なおもらいました二億円の
大蔵大臣に話しました二億円を借ります人
に話しました二億円を借ります人
に補助をいただくのであります。残
りの二割が着の身着のままになります
た者には、なかなかできないのであ
ります。まあ一千五百円まで、金融公庫の金を借ります人
に補助をいたしまして、この一割内
外を県の方から貸すようなことにして
おりますが、この問題は法律上どのよ
うにもならぬものでありますか。なら
ぬものだとも思いますが、何らか便法
を講じてもらつて、建てる人が全部借
金で建てられるような方法はないかと
うかを、一応お聞きしておきたいと思
います。まずこの二点につきまして、まだあ
る關係局のお話を聞きまして、まだ研
究中であります。結論が出来次第、
お尋ねをいたいと思います。

（七〇一）

○河野(通)政府委員 公共事業費の支
出の問題につきましては、実は私の所
管外でござりますので、あるいはお客様
が満足でできますかどうか心配いた
しますが、この問題につきましては、
現在いろいろ調査をいたしております段階
にございます。ようやく県につきまし
ては調査が出て参つておるようでござ
いますが、まだ市の方の調査は十分に
できておりぬよう聞いております。
この調査ができますに応じまして、で
きるだけ実情に即したような国費の支
出をいたして参りたい、かように考え
ておるわけであります。しかしながら
こういう大きな火災については、急ぐ
資金というものをいりますので、大体
さしあたりの資金として、資金運用部
から一億五千万を緊急融資をいたし
わけであります。稻田さんのお話で、
今二億円ということでありましたが、
これは実は一億五千万の融資をいたし
ております。この中には応急住宅等の
建設の資金、また引き出しその他の災
害救助関係のとりあえずの資金等を含
めて、一億五千万を支出いたしまし
た。もつともこれは必要に応じて、さ
らに増加をいたすことは心組んでおり
ますが、調査を完了いたしまして応じ
まして、逐次必要なれる資金は緊急に融
資をいたして参りたい、かように考え
ます。それから第二点の住宅公庫であ
りますが、この点は、去年のルース台風を
るいは北海南道にありました十勝沖の地
震の關係、これらの関係等もにらみ合
せまして、大体とりあえず二億といふ
ことにいたしましたのであります。御参考
までに申し上げますと、ルース関係の
場合には、これは十億ということとて用

地域的にも非常に広くございましたし、損害額も問題にならないほど多額に上つておりますので、これらとバランスをとつて考えております。また千勝沖関係の住宅公庫からの特別の融資は、一億ということにいたしております。これらの権衡をとりまして、さしあたり二億程度で十分ではないか。十分と申しましても、もちろん多々ますべく弁するわけであります。なお将来考えて、この程度が適当ではないかといふうに考えております。なほ将来必要がありましたら、このわくと、いうものは別に固定的なものではございませんので、実情に即したような、彈力的な考え方をして参りたい、かように考えております。それから住宅公庫から八割だけ融資をいたしまして、残りの分については、住宅を建てられる方等に見舞われました方々については、そういう二割分につきまして、自分で資金を調達するということは、なかなか困難な実情にあると思いますが、これも先ほど申し上げましたように、ルース台風の場合の措置及び北海道の措置におきましても、やはり同じような原則によつてやつておるわけであります。特にそれまで何とかまかないがついておるよう私ども見受けますので、鳥取の大火の場合だけに特別の例外をつくろといふことを、この際としてはいかがかというふうに考えておりますので、現在のところでは、従来の方針に従つて融資をいたして行く、こういうつもりであります。

○稻田直選君 予算を通過いたしまし
た臨時災害復旧費と申しますか、私は
よく覚えておりませんが、八十億円本
年度の予算で通過いたしております。
これはまだお使いになつておらぬふう
に聞いておりますが、これもやはり大
蔵省の関係もございましょうが、これ
らから復興資金を出してもらうという
ことは、いかよな程度に出してもら
えますかということにつきまして、お
伺いしたいと思います。

○河野(通)政府委員 これも主計局長
からお答え申し上げた方がいいと思って
ますが、予算に組んであります公公事
業費の八十億円は、御案内のように、
当年度の災害のための復旧費用として
予定いたしております。従いまして、今
後災害が起ることを望むわけではござ
いませんが、例年夏から秋にかけて、
御承知のように災害があるわけであり
ます。これらの災害に対する復旧費を
も含めて、八十億ということに相なつ
ておるわけであります。従いまして、
鳥取の大火灾の関係だけを対象として、
この八十億を考えるわけにも参りませ
ん。しかしながらこの公共事業費とし
ては、調査ができました上は、できる
だけ実情に即したような国費の支出を
いたして参りたいということは、先ほ
ど申し上げた通りであります。その
つなぎとして、今申し上げましたよう
に、一億五千万を出しておるわけであ
りますが、今後調査の完了に応じて必
要の金額を支出して参りたい、かよろ
に考えておるわけであります。ただい
ま何億程度これから出せるかといふこ

ね、かようく御承知を願いたいと思ひます。
○稻田直通君 罹災者のうちで、住宅の建築をしてもらいまして、それに入りましても、あと生業資金がなくては、收入がないので、今一番罹災者が念願をしておるのは、住宅に入るときに生業資金をもらわなければやつて行けない、こう言つておるわけであります。市といたしましては、一般の商店の更生運転資金として六十億円ばかり、これは三千四、五百戸分の更生資金であります。が、なお一番無資産の人々の一般更生資金として、四億円ばかり融資が願いたい、こういうようなことを、市の当局としては陳情して参つておりますが、これらに対しまして、あまり大きまかな陳情であります。いかがなものでございましょうか。

いろいろとも考えられます。なおこのたびの大火のために焼失されました家屋、事業場等の火災保険金が、まだ的確な数字はわかりませんが、おそらく七、八億程度に上るのではないか。この保険金の支拂いにつきましては、できるだけすみやかにこの資金の支拂いを進めるよう、保険会社についても私もども申しておるわけであります。これらの資金ができるだけ早く入手せられましたならば、もちろんそのうち相当部分はやはり担保に入つておると思いますので、金融機関に返るものも相当ありましょうが、これらの点を大火といふ特別の事情等も考えまして、金融機関はこれをただちに全部引上げて、あとは融資をしないといふようなことは困るのであります。金融機関にて対してもできるだけそういう特別の事情を十分考えて、金融機関として可能な限りにおいて、再生資金については特別なるめんどく見て行くようにということを、十分注意をいたしております。先般も私の名前で地場の銀行等には、書面で通達をいたしておりあります。なお金融機関は、御承知のように今度の大火で店が実は大半焼失をいたしました。これらのお係で、とりあえずのところではそういう金融操作について、なかなか不便を来ておると思いますが、できるだけすみやかに復旧をはかりまして、災害を受けられた方々に対する金融便宜に支障を来さぬよう、すみやかななる措置をとるようにこれも通達をいたしております。もつとも銀行等につきましては、店舗が焼けましても別に店舗がなければできないわけでもございませ

んで、焼け残りました店舗等をできるだけ活用させていただきまして、これらの店舗によりまして金融の便宜には極力努めておるよう聞いておりまます。日々金融の状況につきましては電報で報告を聽取いたしておりますが、地場の金融機関といたしましても、極力この方面に努力をいたしておるよう見受けられます。今後もそういうふうな災害に対する更生のための金融援助を、可能な範囲においてできるだけ進めて参りたい、かように考えておる次第であります。

○稻田直道君 ただいまのお話のよう

だいたしますと、市の当局者の希望しております六十億円の一般の更生

資金といふものの目当は、政府の方ではつかないわけですか。

○河野(通)政府委員 六十億、四億と

いう数字の根拠、内容につきましては、実は私も承知いたしておりません

ので、どういう根拠でそういう数字が

出ましたのか、私どもまだ十分納得

ができないであります。いずれに

いたしましても私が預かつております

仕事、つまり金融機関の關係から出

る本来の金融の道から行きますなら

ば、先ほど御答弁申し上げましたよ

うに、単純なる救済資金といふのはな

かなか支出が困難です。しかしながら

個々に十分判断をいたしまして、更生

の見込みがあり、その貸出しの資金が

回収ができる見込みがあるならば、こ

ういう特別の災害でありますから、極

力個々に判断をして金融の便宜をつけ

て行くように指導はして参りますが、

六十億円とか四億とか、そういうたわ

くをつくりこれを何らかの形で出す

○稻田直道君 商工中央金庫並びに農

林中央金庫等より從来金を借りるこ

とは、組合加入ということが條件にな

る預託金の問題であります。この問

題は、こうした災害に際しましていか

つておりましたが、最近承りますれ

ば、商工中金の方は個人にも出すと

いうようなことになつておるそうであ

ります。個人に出すということは、そ

の人の信用なり、その人の事業の関係

なりを勘案して出されるのだと思いま

すが、これに対しましてのお話を承り

たい。

○河野(通)政府委員 商工中金は、從

来では組合つまり構成員たる組合に貸

付ができるようになつておつたんだあ

りますが、先般の国会で通過いたしま

した改正法律によりまして、組合つま

り間接構成員と申しておりますが、商

工中金の構成員たる組合の組合員に対

しては、資金の貸付ができるようによ

うにいたしました。個人と申しまし

たのであります。個人と申しまし

の目的を果して行くように、私どもは希望いたしておるわけであります。県なり市なりにおいて、これらに対する信用力を補強すると申しますか、拡充して行くよう措置がなされるならば、非常に願わしいことと考えております。

○稻田直道君　主計局長のおいでになるのを待つてゐるのですが、小・中学その他公共団体等の設備に、五億円の復旧費がかかることがあります。大体ト

旧費がいると教りておらぬ。大体ノ
中学の補助は二分の一らしいのであり
ますが、文部省方面といたしまして

は、四分の三くらいまでをとおしてお
ります。これに対しましては主計局長
の管轄だと思いますが、もし何でした
らお話を承りたいがどうでしようか。
（口語）支那問題

れまして、まことに復旧困難であります。特に貧乏県であり貧乏市でありますから、どうか大蔵委員会におかれますと、おもて御同情を賜わりたいし、なまざめでも御同情をいただきたいとを希望いたしまして、私の質問を終ります。長時間にわたりまして時間をいただいたことを、くれぐれもありがとうございます。たくお礼を申し上げます。

久間委員長代理 次会は公報をお
お知らせすることいたしまし
本日はこれにて散会いたします。

実はあるわけであります。小・中学の復旧につきましては、これらについても相当の公共事業費が出ておるわけであります。これらの補助率も、やはり一般の例によつてやつておるわけでありまして、鳥取の大火だけについて特別に補助率を上げるということは、これは私から申し上げてもあまり責任のある答弁になりませんけれども、困難ではなかろうかと私は考えておりま

○稻田直道君　鳥取は十年前に、まれに見る大震災で八割つぶれました。今回もまた八千戸の中の五千戸がやら